

地域と道有林が連携した森林づくり推進事業

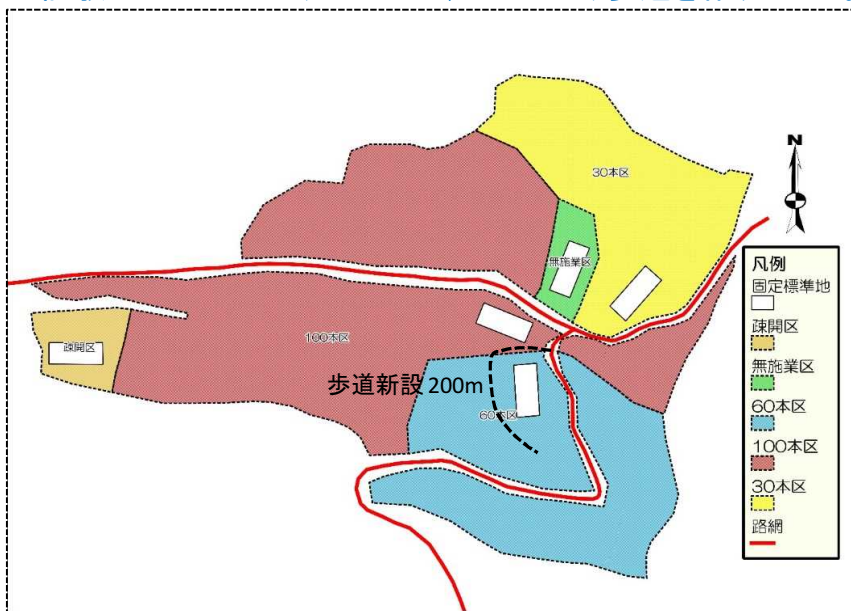
ウダイカンバ人工林密度管理試験地

ウダイカンバ人工林の今後の施業方針の解明するため、最終仕立て本数を定めた試験区を設定し、大径材生産(平均胸高直径52cm)を目標に林齢120年になるまで密度管理試験を継続実施しています。
今回、老朽化した試験地看板の立て替えと試験地内を散策する歩道を作りました。

○試験地の看板を新しくしました。



○試験地内に200m(H28:100m,H29:100m)歩道を作りました。



○有用広葉樹育成技術研修会を開催しました。

民有林の有用広葉樹育成のための技術研修会を平成29年8月31日、当森林室普及課が主催し、森林所有者・国・町職員等26名が出席し、試験地内の新たな歩道を散策して意見交換を行いました。

